

1. 概要 (アテンダー:山部、西山)

- \* 開催日: 2019 (R1)10.30(水) 10:30~14:00 晴れ
- \* 参加者: 13名: (一般8名、会員5名)
- \* 参加費:2,000円(昼食代、保険料含む)

2. 主な行程

10:30 JR 登戸駅集合・出発、10:40 宿河原の堰、二ヶ領せせらぎ館、11:30 柏屋で昼食 12:30、13:15 川崎市緑化センター13:55、14:05 二ヶ領用水合流点、14:20JR 久地駅で解散

3.トピックス

(1) 二ヶ領宿河原堰とせせらぎ館

いまの「宿河原の堰」ができて20年目だそうです。1974年(S49)、45年前の台風16号で多摩川が決壊して対岸の狛江が大被害に遭いました。今回10月12日の19号は、それを越すほどで、このツアーはその直後になりました。泥土と流木で取入口の水門をふさいでしまいました。それでこの先の二ヶ領用水は水たまりになってしまいました。わずかに流れがあるものの鯉はどこへやら...

せせらぎ館でビデオを観たあと、外に出て多摩川周辺の被害の話の話を聞きました。今は流れも落ち着いたのですが、爪痕はすさまじく川に茂っていた樹木は根こそぎはがされてしまい数本が残っているだけでした。(写真11,12,13)

せせらぎ館を終えて柏屋へ向かう途中で、しばらくのサイレン音のあと、係員の男性のアナウンスがありました。「今から...放流のテストを行います」が聞こえました。あとで分かったのが取入口水を開門したようです。このあと午後二ヶ領用水を歩いたときにはとうとう流れていました。まだ泥水でした。

(2) 登戸料亭 柏屋 ランチ

登戸の老舗料理店柏屋、創業は江戸時代末期の天保元年(1831年)とあります。それがこの9月に多摩川河畔に移転しました。登戸の道路拡張のためです。

今年は柏屋に2回来ました。5月に生田緑地「春のばら苑」と旧柏屋の組み合わせで来ました。かれこれ5回になります。「さんかん」はお得意さんですね。

座席の関係でA,Bグループに分かれました。

記憶にあるのは、とろけた柿のなかにみじん切り大根の食感が面白かったのと、ちょこんと小鉢の干しイチジク、そのほんのり甘さが梅干しまじりのご飯に合いました。デザートは柿と葛のあわせでした。小鉢中身の素材を聞いたのですが、つくりが上品すぎて我家のレシピにはなんの役にも立ちません。

(3) 川崎市緑化センター

なにげなく見ているはずの樹木に触れて話してもらいました。イイギリ(注1)にはじまりサンシュユ、スタジイ、楠、その性質や用途です。子供のころにもどって枝からや落ちた実をかじってみました。見た目と違ったアマイのや、スツパイのがありました。説明してもらった人は、ものすごく経験豊富な方で、こうして知っている人がいると、触れたりかじったりしても安心です。楠の葉はもむと樟脳の香りがするのもしりました。温室では翡翠石のような美しいことから名づけられたヒスイカズラや、花でなく葉



写真1 宿河原の堰で洪水の状況を



写真2 本日のプレートランチ



写真3 多摩川窓側席のグループ



写真4 集合写真(柏屋のテラスで)



写真5 奥の席グループでは、鏡に写った多摩川越しの狛江を



写真6 南武線をくぐります(久地駅-宿河原駅間)



写真7 二ヶ領用水を帰る小学生、姉弟?

っぱが匂い源のバニラや、産毛が生えたような多肉葉のトラディスカンティアという和名：白雪姫などを教えてもらいました。名前の由来や特徴が分かると、いま出会った花に親しみを感ずります。

このあと、中の島から来た二ヶ領用水の合流点まで歩きました。それで久地駅で解散しました。

#### 4.感想

身近なものにも着目すると新しいことがいっぱいあります。都会では、近くの自然も見逃していることばかりです。

今回はとくに水害のあとでしたので、泥水の流れに考えめぐらせました。

そんな中でも用水路脇に育つ作物や草花や、南武線をくぐったり、緑化センターではスパイ、アマイもあったりで、いろんな体験があった一日でした。

せせらぎ館と緑化センターでは、ざっとの説明をお願いしていましたが、それ以上の貴重なお話しをしてもらいました。

二ヶ領用水沿い、東名高速道路のガード下あたりでしたが、徒然草の記念碑<sup>(注2)</sup>がありました。「仁和寺...」の最後の節「先達はあらまほしきことなり」がありますが、これは目的としていたところに行かなかった話ですが、「案内人は是非に」というところが類似してます。

私たちアテンダーも、自分たちで説明できることは限られています。むしろ案内人を探してほしいすれば、予想外の収穫や人をつなぐことになると思います。

#### 5.<アンケートから>

\*改めて、自然災害の恐ろしさを目のあたりにして勉強になりました。柏屋さんの昼食はとても嬉しく楽しめました。ありがとうございます。(多摩区)

\*柏屋の食事は大変美味しかった。景色を楽しみながら歩きたいので、もう少しゆっくりの移動が良い。緑化センターが楽しかった。(宮前区)

\*多摩川の川をながめ柏屋の四季プレートいいね...でした。有難うございました。(多摩区)"

\*前から訪れてみたかった「二ヶ領用水」を堪能できました。緑化センターでは見たこともない植物を丁寧に説明して頂き楽しかった。柏屋さんも初めて、とても美味しいランチでした。少人数でのツアーで係の方々ともお話できてよかったです。ありがとうございます。(横浜市)

\*せせらぎ館、緑化センターの方々の説明がとても解りやすく興味深く聞けました。又訪れたいです。

\*二ヶ領せせらぎ散歩はたのしいものでした。緑化センターのバニラの木には驚きました。お食事でも多摩川辺り料亭もなかなかよくて、登戸にあったことが印象に残りました。(宮前区)"

\*せせらぎ館では堰の歴史もそうですが、今回の台風の状況の説明では改めて自然の脅威を感じました。二ヶ領用水を始めから歩いたのはいい経験でした。緑化センターではもっと奥まで見て回りたかったです。帰ってパンフレットで知らなかったことを勉強しました。(宮前区)

—なるべくご本人の直筆を書き写しましたが、文脈から修正や省略させていただいたのがあります。—

(注1) イイギリは“飯桐”と辞書にありました。平たい葉で、ご飯を包むのに使われたことから名前の由来があるのでしょうか。

(注2) 吉田兼好の徒然草第百十五段「宿河原という所にて」のこのお話には“師の仇討ちで東国まで来て、この河原で決闘した両者の潔さ(いさぎよさ)を詠んだもの”とありました。

(補足) 台風19号の爪痕 宿河原堰から登戸ー狛江にかかる多摩水道橋を背景に撮った川辺です。全く同位置からではありませんが、10月8日下見のときに多く茂っていた樹木は根っこからさらわれて、かろうじて3本だけになってしまいました。宿河原の堰の橋脚に引っかかっていたのもありました。(写真11、12、13)



写真8 二ヶ領用水をあちこちで渡る橋



写真9 イイギリの木の話から



写真10 サンシュユの説明



写真11 10月8日の下見で



写真12 10月30日のミニツアーで



写真13 橋脚の下に引っかかった樹木